

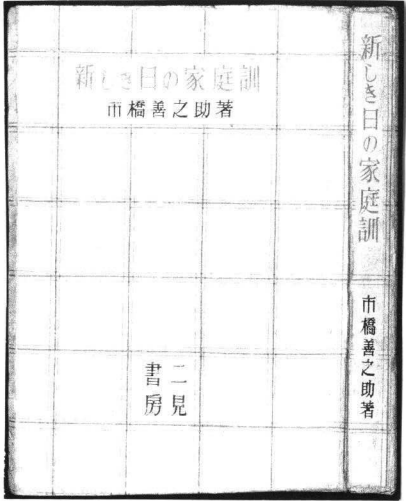
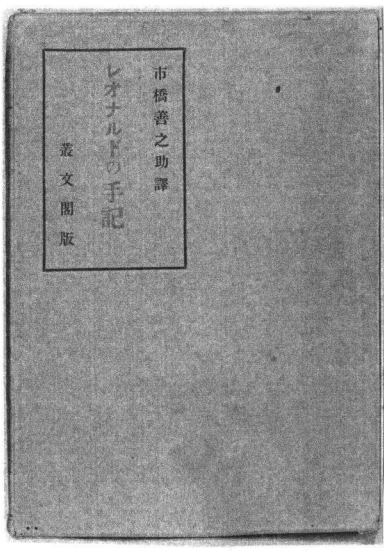
市橋善之助 いさはら 教育評論家。明治二十七年十一月、愛知県縣立名古屋生
 れ、昭和二十五年一月歿（二六四—一九〇）。愛知県立第一中學校を経て、
 早稻田大學文藝部英文科卒。初の翻譯等に従事し、昭和九年長女の小
 學校入學を期し教育問題に専心。

『譯書』ロドストイエーフスキー全集・第一卷』（市橋善之助著、細田
 武樹・木村莊太郎譯、大正九年七月二十八日ロドストイエーフスキー全集
 刊行會）、『レオナルドの手記』

（大正十一年五月一日叢文閣）、
 クロポトキン著『社會主義進化に
 於ける無政府主義の位置』（山本

勤助編、大正十五年九月八日黒旗
 社）、スペンサー著『教育論』（昭和

十六年一月二十三日二見書房）、ジヨン・スチユアート・ミル著『自
 由論』（昭和二十一年四月二十日高山書院）等。著書に『幼児教育論』
 （昭和十六年五月十五日）二見書房、『現代學藝叢書』（、『太陽と泥』）
 等がある。（昭和十七年四月二十日教材社）、『幼少の日の文豪』（文學
 材料を中心した教育の研究）』（昭和十七年五月二十日江書院）、『新



しき日の家庭訓』（昭和十七年十月
 二十日二見書房）、『青年のため
 の讀書法』（昭和十七年十一月二十
 日青年書房）、『若者の日の讀書法』思
 齋』（昭和十八年九月二十日大阪・
 青城書店）、『河志庄古くは慈悲と』編み心』

(昭和十九年十一月十日大阪・葛城書店)、『新編』の『讀』と『田』

(昭和二十二年一月一日澤野書房)等。